

けいはんな学研都市における世界に先駆けた 研究・実証事業の実施について

【担当省庁】内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省

次世代型スマートライフ社会システム構築のための研究・実証 事業の「戦略的イノベーション創造プログラム」への採択

◆ けいはんな学研都市における世界に先駆けた次世代型スマートライフ社会システムの研究・実証事業を加速するため、今後検討される「戦略的イノベーション創造プログラム」の「健康長寿」分野の対象課題に「次世代型スマートライフの社会システム構築」を位置づけ、「科学技術イノベーション創造推進費」の予算を重点配分していただきたい。

○次世代型スマートライフの社会システムの研究・実証事業の概要

- ・スマートグリッドとヘルスケアの融合によるスマートライフの構築
- ・ICTを活用した健康診断情報の蓄積・共有化による研究・開発
- ・ライフイノベーション分野での基礎研究の成果を臨床・開発の場で実証し、実用化・事業化につなげる拠点機能の整備
- ・超小型レーザー駆動粒子線がん治療器の開発など、次世代がん治療器開発 など

「次世代エネルギー・社会システム実証事業」の予算の確保

◆ 京都府では、「次世代エネルギー・社会システム実証事業」の指定を受け、エネルギー自給型の未来都市モデルづくりに不可欠な技術、機器の研究・開発やシステム開発、実用化に向けた成果を着実に積み上げている。

ついでには、平成 26 年度に実証事業の最終年度を迎えるため、事業完結に必要な予算を確保していただきたい。

○次世代型エネルギー・社会システム実証事業（平成 26 年度 国補助金 1.6 億円）

- ・地域全体でエネルギー効率の向上等を目指すエネルギーマネジメントシステム
- ・電力ピーク時に電力需要を抑制する電力デマンドレスポンス など

<内閣府等の概算要求>

◎科学技術イノベーション創造推進費 517.3 億円（新規）

「戦略的イノベーション創造プログラム」の推進等に必要な経費として内閣府に「科学技術イノベーション創造推進費」を創設する。

【戦略的イノベーション創造プログラムの対象課題】 (平成 25 年 9 月 13 日総合科学技術会議決定)

分野	課題名
エネルギー	▶革新的燃焼技術 ▶次世代パワーエレクトロニクス ▶革新的構造材料 ▶エネルギーキャリア ▶次世代海洋資源調査技術
次世代 インフラ	▶自動走行（自動運転）システム ▶インフラ維持管理・更新・マネジメント技術 ▶レジリエントな防災・減災機能の強化
地域資源	▶次世代農林水産業創造技術 ▶革新的設計生産技術
健康長寿	健康・医療戦略推進本部が今後決定する。

＜経済産業省の概算要求＞

◎次世代エネルギー・社会システム実証事業費補助金 90.0 億円

再生可能エネルギーを大量かつ安定的に受け入れ、需給を調整するエネルギーマネジメントシステムの構築に向け、国内 4 地域（けいはんな学研都市（京都府）ほか）において、スマートコミュニティの社会実証を実施する。

◎次世代エネルギーマネジメントビジネスモデル実証事業 138.0 億円（新規）

一般家庭へのエネルギーマネジメントを本格的に普及させていくため、HEMS 等を通じて取得される電力利用データを利活用し、新たなサービスを創出・実証する。

現状・課題等

◎けいはんな学研都市における世界に先駆けた研究・実証のイメージ

- ICTを共通基盤としたスマートグリッドとヘルスケアの融合によるスマートライフ技術と製品
- ライフイノベーション分野での実用化・事業化
- 世界に先駆けた研究と実証の場

社会システム(インフラ)として
パッケージ化して国内外に展開

「けいはんな学研都市」での取組

- 世界的な研究機関や企業の研究所が集積
→ATR、RITE、NICTなどの研究機関
オムロン(株)、京セラ(株)、(株)島津製作所、パナソニック(株)などの企業の研究所
☆サントリーホールディングス(株)の研究所も新たに立地
- 次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクトの実施 (H22～26)
①地域EMS（エネルギーマネジメントシステム）
②再生可能エネルギーの大規模導入
③ライフスタイルの変革
④国際展開・標準化
- けいはんな学研都市ヘルスケア事業の実施 (H23～27)
①SoC応用生体計測センサ研究
②無意識生体計測&検査機器の研究
③非血液バイオマーカー探索と評価・検査研究

国際戦略総合特区での取組

- 旧「私のごとと館」を有効活用した共同研究・開発から実用化・産業化までを促進するオープンイノベーション拠点機能の整備
- 新たな技術実証による新技術の確立と国際市場の獲得 など



◎けいはんな地域「次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト」

※ 全国 20 地域から応募があり、4 地域（京都府（けいはんな）、横浜市、豊田市、北九州市）が指定されたもの。

1 計画期間：5 年間（平成 22 年度～平成 26 年度）

2 総事業費：約 31 億円（計画ベース）

（単位：億円）

	H22	H23	H24	H25	H26
国予算（全体）	44	149	106	86	—
けいはんな事業費 （うち国補助金）	7 (5)	15 (9.4)	9.1 (5.6)	4.6 (3.1)	2.4 (1.6)
府関連予算	—	1	3	1	—

3 特 徴：

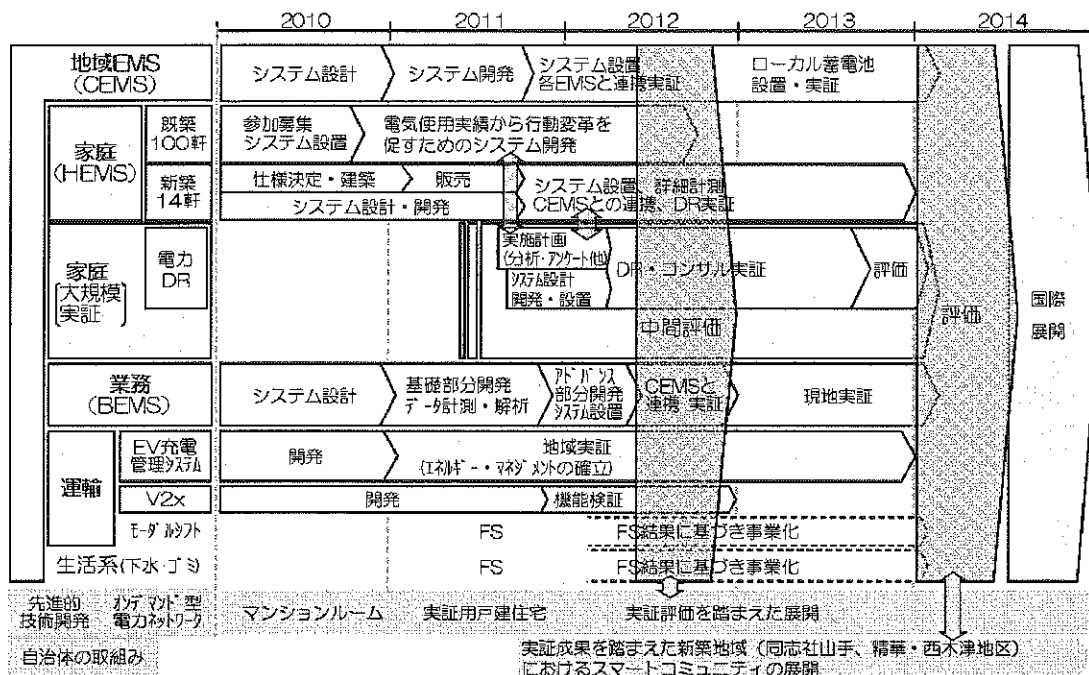
我が国でも珍しい人口が増加し、新たな都市建設整備が進められている「けいはんな学研都市」において、住民参加のもとで、学研都市で生み出される先進技術や太陽光発電等の分散電源など、新たな技術を活用し、エネルギーの地産地消による日本一 CO2 排出量の少ないまちづくりを実現するため、環境にやさしい、安定的、経済的に優れた次世代エネルギー・社会システムの構築を目指す。

4 取組内容：

①地域 EMS（エネルギーマネジメントシステム）	「家庭」「ビル」「EV・EV 充電」を結び、電力系統との相互補完を行うとともに「ローカル蓄電池」の制御やデマンドレスポンスなどにより地域全体のエネルギー効率の向上や負荷平準化を図る最適なエネルギーマネジメントの開発実証
②電力デマンドレスポンス実証	約 700 軒の家庭を対象とした、家庭での電力需要に対するピークカット等の大規模実証
③ライフスタイルの変革	家庭における省エネ活動に応じてポイントを付与することにより、省エネ行動の喚起やライフスタイルを変革
④国際展開・標準化	次世代エネルギー・社会システムのけいはんなエコシティモデルを構築するとともに、確立されたモデル全体を輸出パッケージとして国際展開を図る。

5 推進体制：推進協議会（会長：京都府、副会長：(株)三菱重工業・(公財)関西文化学術研究都市推進機構）を中心に、推進幹事会やワーキンググループを設置し、26 の団体や企業で取り組んでいる。

6 事業実績・全体スケジュール



【京都府の担当部局】

政策企画部 文化学術研究都市推進課 075-414-5194